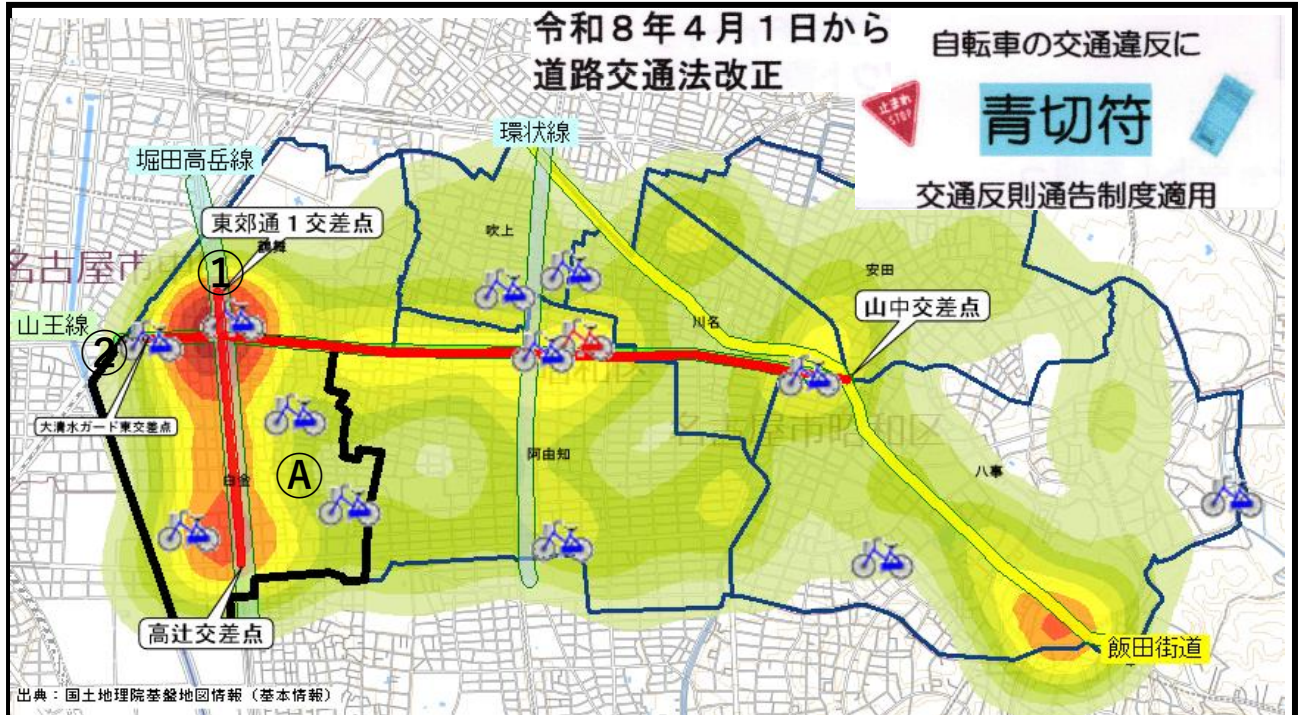


令和8年度 自転車指導啓発重点地区及び路線 昭和警察署



出典：国土地理院基盤地図情報（基本情報）

自転車事故件数			
区分	昭和警察署 管内		
	R5.1 ～R7.12	重傷事故	死亡事故
自転車関連事故	319	12	1

①	市道堀田高岳線		
東郊通1 交差点	～	高辻 交差点	1,400 m
選定理由			
自転車に関連する事故が多発している路線の一つで、名古屋市中心部からの主要道路であるため。			

②	山王線		
大清水ガード東 交差点	～	山中 交差点	3,500 m
選定理由			
自転車に関連する事故が多発している路線の一つであり、道路の勾配がなだらかで自転車利用者が多く利用する地下鉄の駅の沿線上であるため。			

【重点地区】
白金交番管内
選定理由
自転車に関連する事故が多発し、重傷事故についても多く発生していることに加え、自転車利用者が多数往来する商業施設が存在する地区であるため。

**凡例**

- 自転車事故密度分布  
低 高
- 自転車指導啓発重点地区
- 自転車指導啓発重点路線
- 重傷事故発生場所
- 死亡事故発生場所

**よく見られる自転車利用者の違反形態**

- 信号無視
- 傘差し運転
- 一時不停止

「自転車を安全・安心に  
利用するために」  
(自転車ルールブック)

